

第13回 福祉教育研修講座(第三報)

職業としての福祉 教養としての福祉

～改めて『若者が福祉を学ぶ意味』をともに考える～

社団法人日本社会福祉教育学校連盟（学校連盟）主催の「福祉教育研修講座」は、社団法人安田生命社会事業団（現 明治安田こころの健康財団）主催の「ソーシャルワーク実践教育研修講座」として第1回が開催されてから今回で第13回を迎えることとなりました。正月開催を恒例とし、全国各地から福祉教育にたずさわる高校と大学等の教員が一堂に会し、各回のメインテーマに係る研修を受講し、日々の教育実践研究の改善に資すると共に、両者が交流を深める機会ともなっております。第9回以来、全国福祉高等学校長会が共催団体となり、今回も学校連盟福祉教育委員会を中心に、高大連携により企画してまいりました。

今回は、メインテーマを「職業としての福祉 教養としての福祉～改めて『若者が福祉を学ぶ意味』をともに考える～」とすることにいたしました。

先般の社会福祉士及び介護福祉士法改正に伴い、福祉教育を展開する学校には確実に変化が生じていると思われれます。同時に、資格取得を主とする福祉系高校が減少傾向にある一方で、普通科や総合学科において社会福祉を幅広く学ぶ機会は増加傾向にあります。

このような状況の中で、今回の福祉教育研修講座では、学校において職業を教えることや市民として福祉を学んでいくことの意義を多角的に考え、多くの困難な問題に直面する現代社会において、若者が福祉を学ぶ意味を改めて考える機会としたいと考えております。

1日目は、まず、上記メインテーマに係る講演とパネルディスカッション及びこれらを踏まえての情報交流会を予定しております。2日目午前中は、毎回好評の模擬授業を、高校での「社会福祉基礎」及び法改正に伴い新たに導入された科目で実施する予定です。大学においては、災害時における市民の関与を主題とした「地域福祉論」で実施予定です。2日目午後は、前回同様、情報提供をいただいた上で、参加者による意見交換を予定しています。

福祉教育に関心をお持ちの方々に、心より参加を呼びかけます。

社団法人日本社会福祉教育学校連盟会長 高橋 重宏
福祉教育委員会委員長 野口 定久

期 間:2012(平成24)年 1月7日(土)～ 8日(日)

会 場:東洋大学白山キャンパス (112-0806 東京都文京区白山5丁目28-20)

主 催:社団法人日本社会福祉教育学校連盟[担当:福祉教育委員会]

共 催:全国福祉高等学校長会

後 援: 文部科学省、一般社団法人日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、社会事業史学会、社団法人日本社会福祉士養成校協会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、日本社会福祉教育学会、社会福祉法人全国社会福祉協議会

対 象:学校連盟会員校教員、高校教員、大学院生、学部学生※福祉系大学等及び福祉系高校の非常勤講師も参加が可能ですので関係者への周知をお願いします。

定 員:200名 *満員になり次第締め切ります。

参加受付期間:11月21日(月)～12月22日(木)

参加費(予定):講座参加費 8,000円 (大学院生 4,000円 学部学生 無料)

『但し、1月8日開催の「痰の吸入と医療的ケアに関する教員講習会」に参加される教員が1月7日のみ参加する場合は、4,000円といたします。』申込書・払込用紙にその旨ご記入願います。

交流会費 3,000円

2日目昼食 1,000円

プログラム(予定)

第1日目(1月 7日(土))

13:00～13:30 受付 ……【6210 教室前】

13:30～13:45 全体会開会
挨拶 社団法人日本社会福祉教育学校連盟
全国福祉高等学校長会
本研修事業の趣旨と概要 福祉教育委員会
オリエンテーション

13:45～15:15 講演「高校における職業教育の意義と課題」(仮題) ……【6210 教室】

講師 本田由紀氏(東京大学大学院)

高度経済成長期に形成され安定成長期に成熟を迎えた「戦後日本型循環モデル」には、1990年代以降、様々な破綻が顕在化しつつある。教育と仕事の接続のあり方に関しても、新規学卒一括採用を通じた安定的な「教育から仕事への移行」から外れる層が拡大する中で、教育内容の「職業的意義」の向上が課題となっている。同時に、高齢化や社会的弱者の拡大が進む中で、福祉という領域の重要性も高まっている。本講義では、日本社会の変容の見取り図を描いた上で、福祉教育の可能性についてデータに基づいて論じる。

15:15～15:35 休憩

15:35～18:00 パネルディスカッション ……【6210 教室】

テーマ「新しい福祉社会における福祉教育を展望する」(仮題)

パネリスト 本田由紀氏(東京大学大学院)
福原佐知子氏(群馬県立吾妻高校)
三井田真由美氏(順天高等学校)
岡多枝子委員(日本福祉大学) (コーディネーター兼務)

18:15～20:00 情報交流会(立食形式)

第2日目(1月 8日(日))

9:30～11:30 模擬授業(3テーマ)

○高校における授業

1 コミュニケーション技術 ……【6210 教室】

コーディネーター 田村真広委員(日本社会事業大学)

講師 吉田託望氏(宮崎県立門川高等学校)

当初、『社会福祉基礎』を予定しておりましたが、『社会福祉基礎』の「人間とコミュニケーション」にとっても役に立つ『コミュニケーション技術』に変更させていただきました。

2 介護過程 ……【6307 教室】

コーディネーター 保住芳美委員(川崎医療福祉大学)

講師 大田麗子氏、松本直美氏(鳥取県立境港総合技術高等学校)

「チームアプローチの実際」

「介護過程」の目標は、多職種協働やケアマネジメント等の制度の仕組みを踏まえ、具体的な事例について、介護過程を展開できる能力を養うことです。本授業では、実習Ⅱでの体験をもとに、グループでの介護計画の立案を通じて、自分以外の意見を聞くこと、チームの一員として意見を述べることなど、チームの中で果たすべき役割について理解できるように考えています。

○大学等での授業

3 地域福祉論 ……【6216 教室】

コーディネーター 山本美香委員(東洋大学)

講師 加山弾氏(東洋大学)



「若者とともに学ぶ地域福祉」

若者は、地域活動の未来の担い手として期待されています。しかし、地域という枠からまさに羽ばたこうとする時期にあるのが若者であり、なかなか地域福祉への関心を喚起することは容易ではありません。

地域福祉を実践的に学び、それを概念的に理解し、将来の専門職やボランティアなどとして地域を支える素地を養えるよう導くため、どのような教え方のアプローチができるか、という視点で一緒にディスカッションしていきたいと考えています。

11:30~12:30 昼食

12:30~13:30 高校における福祉教育の動向 ……【6210 教室】

情報提供 矢幅清司氏(文部科学省)

13:30~15:00 意見交換(分散会)

1 矢幅清司氏(文部科学省) 「高校における福祉教育の動向」 ……【6210 教室】
介護福祉士養成課程見直しの影響及び高校における福祉教育実践の現状と課題を探る。

2 田村真広氏(日本社会事業大学) 「若者が福祉を学ぶ意味」 ……【6215 教室】
若者の進路をきり開くために取り組まれてきた先駆的な高校福祉教育の試みから学ぶ。

3 加山弾氏(東洋大学) 「地域福祉論」 ……【6216 教室】
若者と共に地域を学ぶ面白さ、難しさ、そして伝え方について検討します。

※ お申し込み方法、参加費振り込み方法等は、11月21日(月)からの申し込み期間に本連盟ホームページ(<http://www.jassw.jp>)にて公開いたします。ご不明の点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

社団法人日本社会福祉教育学校連盟事務局

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館402号

TEL:03-5366-5964 FAX:03-5366-5965

E-mail:grenmei@jassw.jp